

加齢

公園で、昼前に、何時も目の前を通るお年寄りがいる。10年前までは大きなリュックを背負っていたが、この頃は、ひとまわり小さいリュックを背負っている。聞くところによると、中にレンガを入れているそうで、ところが、背中が90度曲がっており、はたから見ても、そこまでして、背負わなくてもいいのと思う。同じように私についても言えるのではないか。そこまでして、絵を描かなくても良いのではと、他の人に良く言われる。習慣というものは、なかなか治せないものである。他の人から、元気そうですねと言われるが、これも見かけ倒しのようなもので、体はあちこちがたが来ており、数年前から、最初は眼にきて、物が二重に見え、病院で診てもらおうと、視神経麻痺と診断され、治しようがないと言われ、薬さえも、貰えなかった。それでも、1年後、回復しその代わり、視力が極端に衰えた。次いで、足が痛くなり、整形病院へ行き、診断結果、脊椎がずれており、治らなく、増々ひどくなるでしょうとのこと、気休めにレーザーを当てたり、背を引っ張ったりして半年ほどリハビリに通いましたが、その時だけで、痛みは続いております。その他に、厄介な糖尿病です。こんな調子で、年を取るにしたがって、イタイタ病に悩まされ、日常生活を送っております。こんなことに負けてなるものか、笑って、忘れようと思う、この頃です。